

目標達成計画

作成日: 令和8年 3月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流の機会を増やし、地域からの認知度を上げる	地域との交流や知ってもらう機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事・認知症サロンへの参加を行っていく。 地域密着型施設の近くの事業所との連携を図っていく。運営推進会議の参加を行っていき交流を図る。 チラシや広報物など近隣に掲示できるか確認をしていく。 	12カ月
2	9	家族様が本人の支援に携わる機会を持てるようにする。	家族様へ面会外出の声掛け、家族参加型行事の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 家族様へ面会外出のお誘いの声かけていく。 外出以外でも施設内で家族様に協力を頂けそうなものを確認する。 家族様参加型行事の計画を立てる。 	12カ月
3	11	日々の業務(ケア)の質の見直しを一過性で終わらず定期的に実施していく必要がある。	フロアミーティングでの改善提案、事例を出して定期的に取り組む機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のフロアミーティングにおいて事前に議題を集め、それらについて話し合う時間を作るよう努める。 フロアミーティングだけでなく、その日に気になる点があれば共有を図り、改善に繋げていく。 業務(ケア)の見直し、改善を行った際はその後どうなったかを評価し、共有を行うことで次の見直しや改善に繋げる。 	12カ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。